

日本列島に燃え上がるリバイバルの炎

2000年の名古屋ミラクル・コンベンション以後、急速に日本全体に広がったマンミンの支教会による活発な宣教報告

日本は八百万の神々の国とよく言われているが、日本人の90%以上が神道と仏教の信者である。キリスト教の布教が遅れていて、クリスチャンは全国民の1%未満だ。宣教基盤もせいぜい弱く、宗教の自由があるとはいえ、日本人ひとりだけを伝道するのは、韓国などのクリスチャンの多い国に比べてやさしくない。このような状況でも、イエス・キリスト日本連合聖潔宣教団は飯田万民教会など14の支教会と協力教会を日本列島全体にまんべんなく建てて、活発な宣教活動を繰り返している。

中部地域: 飯田、名古屋、松本万民教会

日本宣教の礎石になった飯田万民教会(担任ユ・スングル牧師)は2010年2月現在、礼拝人数100人以上の大教会になっている。さらに、牧会者セミナー、IT宣教など、時代の流れに合わせて体系化された福音宣教のために東京万民宣教センターを設立して、活動中である。また、キリスト教をよく知らない日本人に社会奉仕を通して、自然に福音を伝える機会を作った。「飯田万民教会ボランティア会」という宣教団体を結成、飯田市社会福祉協議会に正式加入して老人福祉に努め、中高生を主のもとに導こうと人形劇、ワークショップ公演など幅広い活動を行ない、福音を伝えている。このような活動がマスコミを通して広く知られ、同ボランティア会は永年のシーツ交換と寄付に対して表彰され、ユ・スングル牧師は社会福祉大会名誉会長賞を受けた。「ボランティア会」は、現在、青少年と市民を対象に社会奉仕に活動を広げている。

昨年11月23日には教会付設の老人福祉施設「万民ディサービスみつばさ」を開館、主の愛を伝えている。名古屋では、時國裕博・みや子聖徒(当時)夫妻が名古屋恵み教会を開拓、1994年に「94リバイバル飯田大聖会」、1996年に「信州連合特別いやし大聖会」に参加し、その年10月、マンミンの支教会に加入して名古屋万民教会が創立された。以後、時國牧師夫妻が担任牧師になった。当時「信州連合特別いやし大聖会」で若年性関節リウマチで入院していた駒井孝平君がイ・ジェロク牧師の祈りを受けていやされた事例はリバイバルの契機になった。松本万民教会(伊藤正明牧師)は2004年2月、支教会加入、4月に新聖殿献堂礼拝をささげた後、ハンカチ集会などを通して活発な宣教をしている。

東部地域: 旭川、山形、鉾田、八千代、東京田端、東京、川崎万民教会、鶴見福音教会

北海道にある旭川万民教会(小松幹牧師)は、1999年3月からユ・スングル牧師が定期的に訪問するようになり、礼拝と祈禱会を重ねて同年7月に創立記念礼拝をささげた。山形ではイ・ジェロク牧師の祈りでみごもりの祝福を受けたジュ・ジェギョウ長老、チェ・ユニオン執事夫妻が伝道しながら1997年に礼拝をささげ始め、1998年にチャン・カンソプ牧師が派遣されて、山形万民教会が創立された。翌年の1999年に、美しい新しい聖殿を完工し、聖徒たちが霊肉ともに多くの祝福を受けている。東京田端万民教会は、日本に留学していたとき、イ・ジェロク牧師の「十字架のことば」のテープ

を聞いて霊的な活力を取り戻したチョン・ギョング牧師とソン・アミ宣教師が担任している。韓国語、日本語、中国語の三か国語で礼拝をささげ、青年宣教会の活動が活発になされている。川崎万民教会は平良ユリカ伝道師が神学校時代にイ・ジェロク牧師のメッセージを学んで開拓、疎外された日本人対象に伝道している。東京万民教会(チェ・ビョンラン伝道師)と八千代万民教会(青木久尚牧師)も活発に福音宣教に努めている。鉾田万民教会は飯塚優聖徒代表が開拓し、対人恐怖症がいやされ、鶴見福音教会(協力教会)の前田実隆牧師も大鵬懸室症がイ・ジェロク牧師の祈りでいやされるという神の力を体験した。

西部地域: 大阪、舞鶴、岡山、別府万民教会

大阪万民教会はキム・マルコ牧師がイ・ジェロク牧師の証し手記『死の上がり框で味わう永世』を読んで大いに恵みを受けた後、1999年9月、関西万民教会を開拓、2001年3月、大阪万民教会と改称した。着実に礼拝人数も増え続けて教会財政も増え、霊肉ともに多くの祝福を受けている。2004年4月、キム・マルコ牧師は舞鶴を訪問して、何人かの聖徒を訪問していたが、聖徒たちの要請で月二回訪問して、礼拝をささげるようになった。2005年には廣内昭世執事の生後3か月の孫娘、佑菜ちゃんがかみ臓に4.5ミリの穴が空いていた「心室中核欠損症」を抱えていたが、イ・ジェロク牧師の時間と空間を超えた写真の祈りでいやされるみわざが現れて、これをきっかけに聖徒たちはさらに信仰が成長した。いよいよ2005年9月に、7人の聖徒と開拓礼拝をささげて、熱い信仰の行いを通じて、開拓1年6か月で聖徒たち

の純粋献金で聖殿を購入することができた。九州にある別府万民教会は加藤勲牧師が1995年2月、聖地旅行で吉川登牧師を通してマンミンの働きを知り、同年9月に支教会を開拓した。岡山万民教会(時國裕博牧師)は岡山周辺と四国の教会と交わりながら聖潔の福音を伝えている。支教会の多くは定期的にハンカチ集会(使徒19:11-12)を開いている。聖徒の信仰が成長することはもちろん、さらに健康にもなり、聖霊に満たされた信仰生活をしていて教会はリバイバルしている。これを通して、新しい信者は救いの恵みが臨んで、聖徒は天国の望みとまことの信仰を持つようになり、働き人はさらに熱く走って行く恵みがあふれている。聖潔の福音と神の力あるわざで生ける神が証しされている日本列島に、リバイバルの火がさらに燃え上がるよう期待する。



▲山形万民教会はイ・ジェロク牧師の祈りでみごもりの祝福を受けた一家庭を通して、伝道された聖徒が集まって教会を建てた。



▲飯田万民教会は礼拝人数が約100人の大きい教会で、社会奉仕とハンカチ集会を通して教会がリバイバルした。



▲舞鶴万民教会は開拓1年6か月で聖徒たちの純粋献金で聖殿を購入した。

「2000年名古屋ミラクル・コンベンション」以後、宣教活動が活発に

1992年、韓国で開かれた「日韓連合聖会」で聖潔の福音に接した日本の教会者たちは本教会に宣教師派遣と支教会設立を要請し続けた。ついに1994年1月、ユ・スングル牧師が日本に派遣され、本州の中心部、長野県飯田市に飯田万民教会を開拓して、本格的に働きを始めた。その年の11月、堂会長イ・ジェロク牧師を単独講師として「飯田地域連合大聖会」が開かれ、1996年9月には「信州地域連合大聖会」が開催されて、日本宣教は活気づいた。その後、チャン・カンソプ、チョン・ギョング、ソン・アミ、キム・マルコ、キム・モニカ各宣教師が派遣されて、山形、東京、大阪に支教会を建て、加藤勲、時國裕博、時國みや子、小松幹各牧師など日本人教会者たちが別府、名古屋、旭川などに支教会を開拓した。2000年9月には「名古屋ミラクル・コンベンション」が開かれて、10人の耳の聞こえない人がイ・ジェロク牧師の祈りを受けて一度に聞こえて話すようになり、神に大いに栄光を帰した。このことは宣教師と聖徒たちに大きい力と信仰になって、これを基盤にさらに宣教に拍車がかげられた。

01 ニュース

イ・ジェロク牧師「国民の力」共同総裁に推戴
飯田万民教会創立16周年記念礼拝

02 いのちのみことば

信仰の量り(18)

03 証し

「聴力が回復した神のみわざが現れています」
イ・ジェロク牧師を用いて現れる神の力あるわざが2010年に入り、より大きく、すみやかに現れている。

04 海外宣教レポート

日本列島に燃え上がるリバイバルの炎
2000年の名古屋ミラクル・コンベンション以後、急速に日本全体に広がったマンミンの支教会による活発な宣教報告

万民ニュース

第87号 2010年 3月 14日
MANMIN NEWS
TEL: 82-2-818-7042
www.manmin.org/Japanese

イ・ジェロク牧師「国民の力」共同総裁に推戴

「国民の力」は政治の先進化、国民和合、宗教和合、伝統食宣揚、伝統芸術振興、伝統保存など6大国民運動を展開中



2月21日、堂会長イ・ジェロク牧師が「国民の力」共同総裁に推戴され、(社)国会を愛する救国祈禱総連合会総裁兼理事長キム・ホイル牧師から推戴の盾を渡されている。

「国民の力」は韓国を住みやすく幸せな世界一流国家に作り上げようとしてスタートした汎国民運動グループで、政治の先進化運動、国民和合運動、宗教和合運動、伝統食宣揚運動、伝統芸術振興運動、伝統保存運動などを展開していく方針だ。

飯田万民教会 創立16周年記念礼拝



飯田万民教会(担任ユ・スングル牧師)は2月28日、イエス・キリスト連合副総会長チョン・グゴン牧師を講師に創立16周年記念礼拝をささげ、主のしもべと教会の働き人のセミナーを開いた。この16周年創立記念日を起点として、全聖徒が必ず収穫の年、2010年に祝福されようとして40日連鎖断食祈禱をささげ、幼稚部からおとなまで一つの心になって準備した。この日の礼拝でチョン・グゴン牧師が三つの質問(ルカ10:30-37)という説教をし、2部の祝賀行事では飯田万民教会の12の芸能チームが多様で恵み深い公演で神様に栄光を帰した。また、チョン・グゴン牧師は2月28日と3月1日の二日間、老人福祉施設万民ディサービスみつばさホールで名古屋、松本、東京、旭川、岡山、八千代などから参加した主のしもべと教会の働き人を対象に「影響力あるクリスチャン」というタイトルでセミナーを持った。チョン・グゴン牧師は影響力あるクリスチャンになるためには、みことばの武装、祈り、行ないが必要であると語った。

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- ・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- ・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980
- ・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌島町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.eonet.ne.jp/~osakamanmin/>
- ・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町 2-25-3
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- ・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴィラ 301号室
T) 044-277-0178
- ・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- ・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市宇上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- ・岡山万民教会
〒701-2155 岡山市北区中原460
T) 086-275-7276
- ・イエス・キリスト八千代万民教会
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670
T) 047-483-3587
- ・イエス・キリスト鉾田万民教会
〒311-2102 茨城県鉾田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177
- ・イエス・キリスト東京万民教会(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- ・横浜鶴見福音教会(協力)
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4
T) 045-521-5843

信仰の量り(18)

「私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」(ローマ12:3)

今回は、信仰の三段階と四段階の心の違いについて調べて、単に悪がない信仰の四段階の入り口よりさらに善の実が心に完全に結ばれた段階について語ります。

1. 心が全く違う信仰の三段階と四段階

信仰の四段階になれば、「きよい器が備えられた」ようなものですが、その中に入るべき御霊に属するものがまだすべて満たされたわけではありません。心に罪と悪はありませんが、「肉の痕跡」が残っています。キリストの満ち満ちた身だけにまで達するためには、肉の痕跡までも捨てて、真理の実を完全に結ばなければなりません。

ところが、信仰の四段階の入り口と信仰の三段階の終わりが似ているように見える場合があります。たとえば、信仰の三段階の終わりにいる人が他の人の働きに干渉して、すべてにおいて自分の思い通りしようとするのは、たいてい自分の悪から出てくることです。相手がつらくなくても、自分の益に合うこと、自分の意思を貫徹させようとする心が残っているからです。

しかし、信仰の四段階ではこういう悪い心がありません。私心があって自分の益のためにしようとするのではなく、神のみことばをもっとよく実現するために真理に従って行きたいと願うだけです。もし目下の人々が聞き従わなくても、相手に対してもどかしい心はあるけれど、それによって悪い感情をいだいたりしません。

うわべでは、信仰の三段階の終わりにいる人と大きな違いはないようですが、神様の前ではふたりの心は全く違います。前者は心と行ないがどちらも悪いと言われますが、後者はまだ完全でないだけで、悪だと罪に定められないのです。しかし、いくつ悪い意図がなかったとしても、徳をもって行なえなかったことについては、必ず悟って変えられなければなりません。

2. 単に悪がない四段階の入り口よりさらに善の実が完全に心に結ばれた場合

私はどんな働きでも、一度任せたら全能的に担当者を信じて、自分が望む方法を強いたことがなく、自分の心に合う方法でしないからといって、途中でその使命を他の人に任せたことがありません。直接指示すれば結果がはるかに良いし、試行錯誤もないかもしれませんが、それでは働き人を育てることができません。働き人が自分の力量で最善を尽くし、時には失敗を通しても学んでいくことで、神のみことばをわかめる方法を悟るようになって牧者と一つになり、能力が育つように、最善を尽くして配慮するのです。

このように、働き人を育てるために、心に悪がないだけでは足りません。愛、柔和、平安、善意、寛容、自制、このような御霊の実が豊かに結ばれていてこそ、できることなのです。しかし、注意することは、心の悪をすべて捨てていいし、自分の益を求め、自分の義で行ないながらも、「私は自分の益を求めているのではなく、神の国のためにそうなのだ」と、自分の悪をおおうがむという事です。ですから、自分の心を徹底的に顧みなければなりません。自分が本当に他の人の心と立場を考慮して、安らかな心で仕えているのか？ すべてにおいて他の人の益をまず求めようとしているのか？ どんな状況でも心に揺れ動くものやわだかまりがなくて、悪をもって向かってくる相手に対しても、温かく柔和に愛で対しているのか？ 心から真理を喜び、自分より他の人が榮えていることを幸せに思うのか？ こうい質問に対して、いつも「アーメン」と答えなければ



堂会長イ・ジェロク牧師

りません。「時々そうだ」とか「恵みに満ちている時はそうできる」というのでなく、「いつもそうだ」と返事できるでしょうか？ そうできるならば、神様は皆さんの信仰が四段階だと認めて、皆さんの人生でもにおられる証拠を現してくださるでしょう。

私たちが信仰の四段階に入って、きよい心の器を備えたとしても、完全にようになるためにはその中に御霊に属するものを満たさなければなりませんと言いました。それでは、御霊に属するものが満たされていくとは、どんなことでしょうか？

聖書には、神様がアブラハムを祝福されたとき、おいのロトもアブラハムによって祝福された記述があります。ところが、アブラハムとロトの家畜がはなはだ多くなると、アブラハムの牧者たちとロトの牧者たちの間に草と水を求めて争うようになりました。それで、アブラハムが平和をつくる解決策を提示して、ロトはアブラハムの提案によりアブラハムから離れるようになりました。

こういう状況でも、もしアブラハムが信仰の三段階にいる人だったら、ロトに対して気まづくなり、物事をはっきりさせようとしたかもしれません。ただし、三段階の終わり頃になったら、真理をよく知っているの、心には気まづさがあったも、表に感情を出さなかったでしょう。

それでは、信仰の四段階に入ってきた人はどうでしょうか？ この時は、根本的に心に悪い感情そのものがあります。その状況で一番合理的な解決策を見出し、互いに分かかれようとする提案はできますが、心に悪があるので、相手に対して気まづくなったり、嫌ったりするのはありません。「牧者たちが互いに争うのを見ると、私たちが平和をつくるためには別れなければなりません。私はこちらへ行くから、あなたはあちらに行きなさい」と言って、アブラハムのほうから行き先を決めることもできます。アブラハムには十分に先に選択する権限があって、彼はすでに御霊の歩みに入った人ですから、先に選択するとしても自分の益を求めるとはいいません。

ところが、肉の人が見ると、まわり間違えればばい罪に定めるかもしれません。「アブラハムにわだかまりがあって、ロトを別れさせるんだな」「自分の欲に従って良いほうを選んで、相手に従うように要求している」と思うのです。三段階の終わりの人や四段階の入り口の人を目に見える行ないだけで見ると、似ているからです。しかし、肉の人が他の人の心を推し量ることはできないし、しかも御霊の人の心にある深いことは、肉の人にわかりません。

〈第一コリント2:15〉に「御霊を受けている人は、すべてのことをわかめますが、自分だけではいってもわかまされません。」とあるとおり、自分が御霊の歩みに入って、御霊に導かれる者になってこそ、聖霊の働きのうちに正しい、正しくないが正確にわかまえられるのです。人が相手の行ないだけを見て、肉の限界の中で善悪をわかめるよりは、まず自分の

心から悪を捨てるのが大切です。ところで、アブラハムの場合は、単にわだかまりがない程度を越えて、もっと善の心でロトに仕えました。

〈創世記13:8-9〉に「そこで、アブラハムはロトに言った。『どうか私とあなたの間、また私の牧者たちとあなたの牧者たちとの間に、争いがないようにしてくれ。私たちは、親類同士ののだから、全地はあなたの前にあるではないか、私から別れてくれないか。もしあなたが左に行けば、私は右に行こう。もしあなたが右に行けば、私は左に行こう。』」とあります。互いに平和が保てる方法を提示しながらも、ロトの心が安らかであるように願って、ロトが良い土地を先に選んで行けるように配慮したのです。こういう姿を見ると、アブラハムにはすでに心に御霊の実が豊かに結ばれていたことがわかります。単にわだかまりを持たない次元にとどまらず、善をもって悪に報いることができる心です。

信仰の四段階でも、御霊の実でもっと満たされた分、口から出る言葉と行ないがもっと徳があって感動的になります。御霊に属するものが50%、80%と満たされて、つい、100%になったとき、完全に真理で満たされた すべてにおいて御霊に導かれる心になるのです。

また、心に真理が満たされる分、神様にもっと喜ばれるほうを選ぶことができるようになります。ある状況で、これもあれも良く、二つとも真理に外れないならば、信仰の四段階のまだ入り口にいる時は、特に考えなくて自分が願うほうを選ぶことがあるでしょう。しかし、御霊の実が心に満たされた分、神様の心をさらに深く推し量れるようになるので、自分にとって良いほうを選ぶよりは、神様にもっと喜ばれるほうを選ぶのです。

たとえば、ダビデは王として油注がれた後、サウル王が自分を殺そうと長い歳月追い回したので、いつも命が脅かされてきました。ところが、ある日、ダビデにサウルを殺すことができる絶好の機会が訪れました。ダビデが隠れている場所にサウルが入ってきて、深い眠りに落ちたのです。〈サムエル記第一24:4〉を見れば、ダビデの部下たちが「今こそ、主があなたに、『見よ。わたしはあなたの敵をあなたの手に渡す。彼をあなたのよいと思うようにせよ。』と言われた、その時です。」と言って、すぐにサウルを殺そうと主張したのです。

しかし、ダビデはサウルを殺しませんでした。サウルを殺すことが悪でなくても、ダビデはそれよりもっとすぐれた善を選びました。サウルは自分が仕えた王で、一時、神様の前で油注がれた人です。そのようなサウルがいくら悪い者であり、それによって自分が害を受けるかもしれないでも、神様に油注がれた人に危害を加えないで、ただ神様にゆだねるほうを選んだのです。

このように、信仰の四段階でも、心に御霊に属するものがどれほど満たされたかによって、ただ悪がない次元から全き善の次元へと近づくようになります。信仰の四段階の入り口でも、人によって満たされた分野は違います。ある人は愛と柔和がすぐれていた、ある人は柔和の実は少なくとも、犠牲性と仕え、忠実がすぐれていたります。いくつかの実だけ結ばれていたり、時々、完全に御霊に導かれているように行なうからといって、信仰の五段階に近いとは言えません。

ですから、信仰の四段階も、訓練を通してあらゆる分野で完全に主に似せられるように、変えられ続けなければならないのです。愛の章の愛と八つの幸いの実、御霊の九つの実と光の実など、真理の実が完全に結ばれて豊かになるとき、はじめて信仰の五段階に入って、全く聖なるものとされた、と言えるのです。

次は、どうすれば訓練を通して信仰の四段階から五段階に入れるのかを語ります。

「聴力が回復したみわざが現れています」

難聴、耳鳴り、中耳炎など、生活上の騒音、あるいは不注意によって、聴力障害者が増えている。聴力は一度損なわれれば回復が難しいので、普段から耳を守ることが大切である。
イ・ジェロク牧師を通して現れる神の力あるわざが2010年に入って、より大きくすみやかに、礼拝中でもいやされるなど、不思議なわざが次々と起こっている。その中で聴力を回復したほんの数例を掲載して、神に栄光を帰す。

「礼拝の途中で、説教の音が突然大きくなりました」

ユ・ミンヨブ姉妹
(1-1教区、光と塩宣教教会)

「ガッチャン、ガッチャン」1990年代、紡織工場に勤めていた私は、機械音が非常に大きくて、耳がいつもぼーんとしていました。ある日のこと、耳からねぼっこい液体が出て、それから血の膿まで出るようになりました。隣の人の声もよく聞こえなかったけれど、生活のために仕方なく我慢しなければならなかったのです。

結局、そこをやめてデパートに勤めましたが、お客さんの話がよく聞こえませんでした。

2007年、耳鼻咽喉科へ行ったら、お医者さんから補聴器を勧められました。着けたいとは思いましたが、見た目があまり良くないと思い、迷ったあげく着けませんでした。その後、仕事をしながら困ったことが、ちよっとやそつではありませんでした。お客さんの口の形を見て、だいたい見当をつけて話をしましたが、背中に冷や汗が流れることが、二回ではありませんでした。そして、電話が来るのが怖いほどでした。

悪いことは重なるもので、約2年前から起きた耳鳴り(実際には音がしてないのに、中耳炎になって、25年間、音がほとんど聞

は聞けつた)「ティック、ティック」「チーク、チーク」という音まで聞こえて、眠れない日が多く、一日一日が苦しみでした。いつの日からか、私は信仰生活をおそろかにして、世に向かっていました。主日を守っているというものの、十分の一献金も後まわしにしたまま、テレビにはまってむしむし心を満たそうとしました。膝の関節炎にまでなつて、職場をやめるしかありませんでした。

2009年11月1日、光と塩宣教教会(流通業などで主日を守りにくい信者のための宣教教会)の指導教師が家に訪ねてこられました。私は信仰生活が正しくできなかったことなどを神様に悔い改めて、堂会長先生に祈りを受けました。そして、次の日から始まった2回連続特別ダニエル徹夜祈禱会に参加しました。毎日、マンミン祈禱院の集会和ダニエル徹夜祈禱会に参加しながら、過ぎた日の過ちを魂を砕いて告白しました。各種礼拝をささげながら、みことばどおり行おうと努力したところ、神様の恵みで膝の関節炎がいやされました。

神様の愛はこれで終わりませんでした。1月31日、主日大礼拝をささげながら、メッセージことでも恵みを受けた私は、最初から最後まで涙で「アーメン！ アーメン！」と言っていました。礼拝が終わる頃でした。突然、説教の音が大きく、前よりはっきり聞こえるではありませんか。私はスピーカーのボリュームを上げたのではと思って、横に座っていた人に聞きました。

「スピーカーのボリュームが上がったのではないのでしょうか？ 急に大きくなりましたね。」

「いいえ、ずっと同じですが。」その時はじめて、慢性中耳炎がいやされて、聴力が回復したことを知りました。今まで小さい声はほとんど聞こえなかったのですが、今ははっきり聞こえます。いややくださった神様に栄光をお帰しして、愛で祈ってくださった堂会長先生にも感謝いたします。

「今は補聴器がなくてもよく聞こえます」

チョン・ヨン執事
(1-8教区、5-2女性宣教教会)

幼い時に小川に落ち、その後、右耳が中耳炎になって、25年間、音がほとんど聞



こえませんでした。その上、左耳まで6年前にほおを打たれて、耳から液が出て、聴力がどんどん落ちて、結局、補聴器を着けなければならなくなりました。でも、こんなふうでも数年間、「万民ニュース」で伝道することが楽しみでした。2、3か月前からは、シン・ソヒ区域長に手伝ってもらって、1週間に1000部配りました。1月22日、金曜徹夜礼拝の前に、堂会長先生に聴力回復のために祈りの祈りを受けました。次の日、起きると、はずした補聴器を着けようとしたが、補聴器がなくても左耳がよく聞こえました。

「耳が聞こえると生きる喜びを感じます」

チエ聖徒
(27教区、主の愛宣教教会)

1951年、残酷だった朝鮮戦争の時です。当時、私は16才で、忠清北道ジェチョンで国軍を支援している間に、北朝鮮軍の捕虜になりました。少年スパイと誤解されて、激しい拷問と集団で殴られたせいで両耳の鼓膜がひどく破れて、ほとんど聞こえなくなりました。



2003年、北朝鮮から脱出しましたが、耳が聞こえないからすべてが恐くて、信仰生活も興味を失って、去年は数か月間、教会に来なかったことも

ありました。最近はやつと教会に行き来だけしてました。1月29日、国家有功者に認定されて恩恵を受けよう、主の愛宣教教会の会員と一緒に堂会長先生の祈りを受けました。すると、どうしたことでしよう。1月31日、主日大礼拝をささげている間に、堂会長先生の説教がはっきり聞こえるではありませんか。私はあまりにもうれしくて走りまわりました。聴力回復のために祈りを受けたのでもないのに、ただ礼拝をささげている間にいやしてくださる

は、本当に神様は生きておられますね。耳が聞こえると、生きている喜びを感じます。

「仕方なく生きていた私に奇跡がやってきました」

パウ・ミンソン聖徒
(チャンウォン万民教会)

私は1年前、両膝の人工関節手術などで長期入院していました。その時から聴力が落ちて、両方の耳がよく聞こえなくなりました。からだのあちこちが痛くて、仕方なく生きていた私に、伝道の手が差し伸べられました。チョン・ヨンス勅士に導かれてチャンウォン万民教会に出席するようになったのです。その後、4時間から教会までは1時間で、何としてでも信仰でいやさようと努力しました。



1月29日、ソウルに来て、金曜徹夜礼拝の前にいやしのために堂会長先生に祈りを受けました。すると、チャンウォンに帰るワゴン車の中ですばらしいことが起こりました。ふだん耳の近くで大きい声で話してやつと聞こえていたのに、補聴器がなくても小さい話声までよく聞こえるのです。ハレルヤ！

TIP 生まれた時から見えない目と失った聴力の回復は、現代医学でも解決できない難題だが、信仰で創造主の神の力を求めれば、聖書に記されたみわざが同じように現れる(ヘブル13:8、イペソ4:13)。

退化したり死んだりした神経、細胞は、単なるいやしの賜物では治せない。したがって、見えない人が見えるようになったり、聞こえない人が聞こえるようになったりするみわざが現れたなら、キリストの満ち満ちた身だけに達した人が神から権威と力を授けられて、いやしと云えるだろう。

イ・ジェロク牧師著書『驚くべき奇跡』第3章「再び造られた神の力」より

万民 ニュース

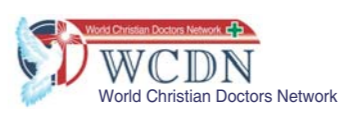
発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市ク区ク3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048



Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com